

Wikiprint Book

Title: InterTrac リンク

Subject: SilverFrost - InterTrac

Version: 3

Date: 12/20/25 10:55:03

SilverFrost 目次

| | |
|-----------------------|---|
| InterTrac リンク | 3 |
| 定義 | 3 |
| InterTrac プレフィックスのリスト | 3 |
| リンクのシンタックス | 3 |
| 例 | 3 |

InterTrac リンク

バージョン 0.10 以降で、Trac は Wiki マークアップの中から、他の Trac サーバのリソースを簡単に参照できるようになりました。

定義

[InterTrac](#) リンクはスコープ付きの [TracLinks](#) とみなすことができます。他の Trac Environment で管理されている Trac のリソース (Wiki ページ, チェンジセット, チケット, ...) を指定し、参照するために使用します。

InterTrac プレフィックスのリスト

| Prefix | Trac Site |
|----------------------|-----------------------------|
| trac | Trac プロジェクト |

リンクのシンタックス

他の Trac Environment の名前をプレフィックスとして使用し、コロンに続けて他の Environment にあるリソースを記述します。

<Environment>:<TracLinks>

リソースは通常の [TracLinks](#) で使用できるどのようなものでも指定できます。

<対象の Environment> には、 Environment の本当の名前か、 エイリアスを指定します。 エイリアスは `trac.ini` に定義します (下記参照)。 プレフィックスでは大文字 / 小文字は区別されません。

もし [InterTrac](#) リンクがスクウェアブラケットで括られている場合 ([trac:SpamFilter] のように), リンクとして表示する際に、[InterTrac](#) のプレフィックスは取り除かれ、普通のリンクリソルバであるかのように扱います (例: 上記の例では `SpamFilter` と表示されます)。

簡易な方法として、他にも省略形があります。チケット、チェンジセット、レポートの識別子に直接プレフィックスとして、エイリアスを使うことができます。（例 `#T234`, `[T1508]`, `[trac 1508]`, ...）

例

InterTrac を使用するためには、設定をする必要があります。この設定は、 `TracIni` ファイルの `[intertrac]` セクションに行います。

設定の例:

```
...
[intertrac]
# -- ████:trac
t = trac

# -- ████ Trac ████:
trac.title = Edgewall's Trac for Trac
trac.url = http://trac.edgewall.org
```

.url は必須項目で、他の Trac の場所を指定するのに使用されます。同じサーバ上の Trac Environment であれば、相対 URL でもかまいません。

.title に設定した内容は [InterTrac](#) リンクをマウスオーバーしたときに、ツールティップとして表示されます。

`compat` オプションには、互換性 モードの 有効無効を設定します。

- リンク先の Trac が [milestone:0.10](#) (正確には [r3526](#)) より前のバージョンで稼働している場合、[InterTrac](#) リンクをどのようにディスパッチしていいのか解釈できませんので、ローカルの Trac で正しいリンクを生成します。通常使用するほとんどのリンクを生成できますが、すべてのリンクが動作するわけではありません。これを互換モード (compatibility mode) と言い、デフォルトで `true` になっています
 - リモートの Trac が [InterTrac](#) リンクをディスパッチできると分かっている (訳註: リモートの Trac のバージョンが 0.10 以降である) 場合、互換モードを明示的に無効化することで、[TracLinks](#) のすべての機能を [InterTrac](#) リンクで使用できるようになります

上記の例を設定すると、以下のようなリンクを使用することができます：

この (訳注: 本家サイトの) [InterTrac](#) ページ:

- `trac:wiki:InterTrac` [trac:wiki:InterTrac](#)
- `t:wiki:InterTrac` `t:wiki:InterTrac`
- キーでは大文字/小文字は区別されません: `T:wiki:InterTrac` `T:wiki:InterTrac`

チケット [#234](#) へのリンク:

- `trac:ticket:234` [trac:ticket:234](#)
- `trac:#234` [trac:#234](#)
- `#T234` `#T234`

チェンジセット [\[1912\]](#) へのリンク:

- `trac:changeset:1912` [trac:changeset:1912](#)
- `[T1912]` [\[T1912\]](#)

リビジョンログの範囲指定 [\[13300:33301\]](#): (Note: `trac.compat=false` を設定する必要があります)

- `trac:log:@3300:3330` [trac:log:@3300:3330](#)
- `[trac 3300:3330]` [\[trac 3300:3330\]](#)

• リモートの Trac のスタートページにリンクするためには、明示的なリンクの内部にプレフィックスに続けて ':' を記述します。例: `[th: Trac Hacks]` (0.11 以降は注意してください。リモートの Trac も 0.11 以降で動いている必要があります)

通常の形式 `<InterTrac ██████████>:████████:████` は 正しい URL `<████████ Environment>/████████/████` と解釈されます。省略形のリンクは モジュールごとに固有となっています (例 `#T234` は チケットモジュールによって解釈されます)。残りの形 (`<InterTrac ██████████>:████████`) については、リモートの Trac の [TracSearch#quickjump](#) に沿った動作をします。

See also: [TracLinks](#), [InterWiki](#)